

2020年5月28日

脳神経外科、脳神経内科に入院中の患者様へ(臨床研究に関する情報)

当院の理学療法技術科・作業療法技術科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療・治療で得られた過去の記録を参照しまとめることにより行っております。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる各患者様より直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。つきましては、この研究に関するお問い合わせ等がございましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】急性期病院入院時のSIASの項目と機能的予後や転帰先の検討

【研究機関】帯広厚生病院 理学療法技術科、脳神経外科、脳神経内科

【研究責任者】廣川 基

【研究の目的】

理学療法技術科では、脳卒中後の身体機能の評価として「SIAS」というものを使用しています。この評価ツールは世界的に使用されているものであり、身体侵襲を伴うものではありません。また、当院から回復期病院へ転院する際に「脳卒中地域連携パス」というものを使用しており、転院後の身体機能の改善度合いや、最終的な退院先等を記録しています。このSIASと脳卒中地域連携パスのデータを照合し、入院時の身体機能が最終的にどの程度まで回復し、退院先がどうなったかを検討することが目的です。この検討によって、入院時の脳卒中の重症度から早期に患者様の機能的予後を予測することができ、より最終到達目標を明確にできるため、提供するリハビリテーションの質を向上させることに繋がります。

【研究の方法】

○2019年以降に脳卒中(脳梗塞、脳出血)を発症した方を対象とします。

○利用する情報：

①年齢、性別 ②SIASのスコア ③退院先 ④最終的な身体機能獲得状況 ⑤在院日数

【個人情報の取り扱い】

本研究では患者様個人を特定することに繋がる他の個人情報(氏名、住所など)を使用しません。また、研究成果は学会等で発表されますが、個人を特定できる情報は利用しません。

【問い合わせ先】

北海道帯広市西14条南10丁目1番地

担当理学療法士：廣川 基

電話：0155-65-0101 (内線2496)